



大阪府中央会情報連絡員報告

府内中小企業の景況

2022年
5月

1. 5月のDIは、全9指標のうち8指標が低下、主要3指標は、売上高28ポイント低下、収益状況4ポイント低下し業界の景況は16ポイント低下している。
2. 5月末時点では、製造業では3指標のDIが低下し、また非製造業では7指標のDIが低下している。

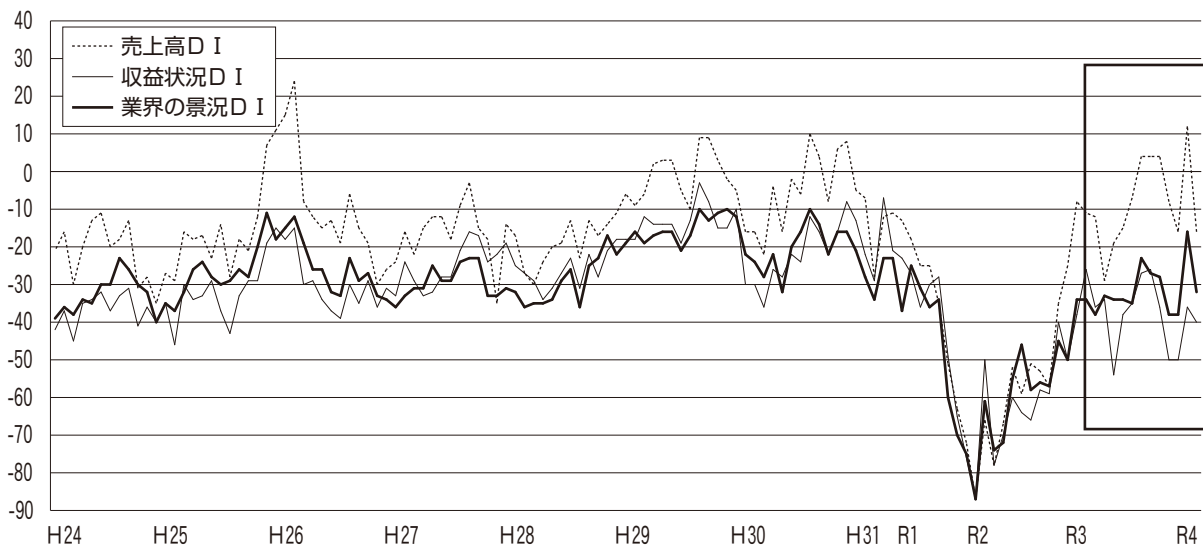
景況天気図

令和4年 5月分	全産業			製造業			非製造業			30以上 快晴
	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	4月	5月	前月比	
売上高	12 	△16 	↓ -28	20 	△20 	↓ -40	0 	△10 	↓ -10	10~29 晴れ
在庫数量	5 	16 	↓ 11	13 	13 	→ 0	△25 	25 	↓ 50	9~△9 うす曇り
販売価格	24 	16 	↓ -8	20 	20 	→ 0	30 	10 	↓ -20	△10~△29 くもり
取引条件	△12 	△16 	↓ -4	△26 	△20 	↑ 6	10 	△10 	↓ -20	△30~△49 雨
収益状況	△36 	△40 	↓ -4	0 	0 	→ 0	△20 	△30 	↓ -10	△50以上 大雨
資金繰り	△8 	△12 	↓ -4	△13 	△20 	↓ -7	0 	0 	→ 0	
設備操業度	△13 	△13 	→ 0	△13 	△30 	↓ -17				
雇用人員	0 	△4 	↓ -4	0 	0 	→ 0	0 	△10 	↓ -10	
業界の景況	△16 	△32 	↓ -16	△40 	△34 	↑ 6	20 	△30 	↓ -50	

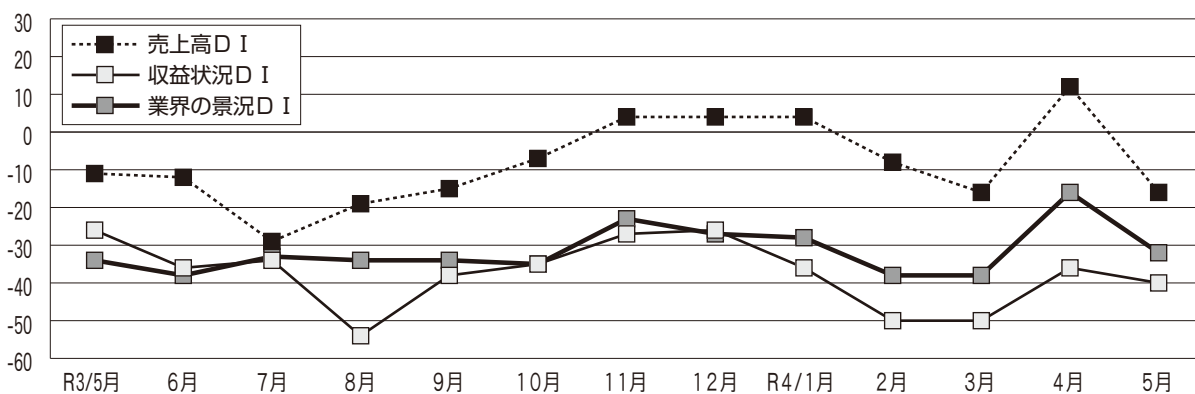
天気図の見方…各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または悪化)業種割合を引いた値をもとに作成。その基準は右記のとおりです。ただし、在庫数量はプラスの場合は雨、マイナスの場合は晴れの方向に表しています。

DI (Diffusion Index: ディフュージョン・インデックス) とは、景気動向指数や景気判断指数と呼ばれており、景気動向を早期に把握するために使われる指標である。「増加・上昇・好転」といったプラス回答の比率から、「減少・低下・悪化」というマイナス回答の比率を差し引いて求める。

全産業 H24年5月～R4年5月のD Iの推移



全産業 R3年5月～R4年5月のD Iの推移



業種別概況 (5月分)

【製造業】



水産食料品製造業

ウクライナ情勢の影響により一部の魚価高騰に伴い、収益状況は悪化している。



綿・スフ織物製造業

原材料(綿糸)価格は20%以上上昇し、原油をはじめとする幅広い品目の価格上昇により、業界の景況はさらに厳しさを増している。



木材加工業

前年同月と比べて売上高は増加した。在宅ニーズの高まりによる住環境の見直し等が要因と思われるが、業界全体としては依然厳しい状況である。



古紙収集加工業

新聞古紙の発生は、前年同月と比較しても厳しく、また白物古紙もペーパーレスとコロナの影響により大幅な減少となっており、業界全体としての景況は悪化している。

**製本業**

原油価格の高騰に伴い、運送費等の経費増で製品単価来週に転嫁できないなど取引条件は悪化している。

**シール印刷業**

組合員企業は、食品・電気製品・化粧品・物流・医薬関連等の下請けが大部分を占めており、原油価格の高騰や製造コストの上昇で価格転嫁が進まない状況が続いている。

**セルロイドプラスチック製品製造業**

前月比20%減、前年比25%減と一段と稼働率が落ち、原材料の高騰や販売価格への転嫁も十分ではなく、収益状況は一段と厳しさが増している。

**石鹼洗剤製造業**

コロナ禍に加え、ロシア軍のウクライナ侵攻に伴う原材料価格の高騰、運送費等の経費は深刻さを増し、収益状況は悪化している。

**鍛造業**

生産量は今月も前年を若干上回り、17ヶ月連続上昇し、全体で前年比1%増加した。一方、自動車向けの生産量は半導体不足や部品不足の影響を受け、10%あまり前年同月を下回り、先行きが懸念される状況である。

**建築金物製造業**

燃料価格の高騰、原材料費や物流コストの上昇等により、経営環境の改善が進まない状況にある。さらにウクライナ情勢の見通しが不透明であることから、景気回復の見通しがつかない状況である。

**産業機器製造業**

半導体不足の中、中国上海のロックダウンで工場が閉鎖したことにより、自動車部品が入荷せず、新車が大幅に遅延し、中古車の引き合いが多い。高炉メーカーのさらなる材料値上げに対し、どこまで転嫁できるかが重要課題となっている。

**印刷製本機械製造業**

ロシアによるウクライナ侵攻の影響で半導体を中心とした部材・部品不足が顕著になっている。完成品になら

ない仕掛品が増え、在庫が増加、資金繰りが悪化している。

【非製造業】**電気機器卸売業**

販売価格の上昇により、粗利は好転しており、業界の景況としては安定しているものの、半導体不足等の影響からの供給不足により、業績の伸びは抑えられている状況である。

**衣服・身の回品卸売業**

原油価格の高騰に伴い輸送コストの上昇、また急速な円安の進行により、先行き見直しは不透明な状況にある。

**二輪自動車小売業**

新車供給は一部車種について改善されてきた。納期の長期化や中古車価格の高騰により購買意欲が低下し、業界の景況は悪化している。

**地質調査業**

業界としては景気が安定している。

**警備業**

ウイズコロナの考え方が浸透してイベント等が開催されるようになり、業界の景況は好転した。

**建設業**

半導体不足のため、売上や受注にも影響がでており、収益状況は悪化している。

**タイル工事業**

メーカーや仕入先からの値上げ要請が相次ぎ、運賃・交通費の上昇とともに収益状況は悪化している。

**貨物運送業**

前年同月に比べ引越件数と販売価格が減少し、引越資器材や燃料価格が増加したため収益状況は悪化している。